

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長）
	(2) 管内の交通事故発生状況（交通課長）
4	前回の答申に対する推進状況（生活安全課長）
	(1) 諮問事項
	特殊詐欺をはじめとする重点犯罪に対する防犯意識の向上方策
	(2) 答申事項
	子供や若者の柔軟な発想に基づいたキャンペーン等、広報啓発活動の実施
	(3) 主な推進施策
	ア 中学校生徒による「新城の犯罪をなくそう会」の開催
	イ 新城警察署防犯ボランティアチームの再委嘱（管内の高等学校生徒）
	ウ 中学校生徒による警察との合同パトロールの実施
	エ 「地域安全ニュース」の配布及び特殊詐欺被害防止ポスターの掲示
	オ 被害防止を呼び掛ける外国語対応チラシの配布
5	諮問事項
	(1) 諮問事項
	新城こども見守りプロジェクト
	(2) 諮問事項の設定の趣旨（副署長）
	地域社会全体で子供の見守り活動を展開し、交通事故や犯罪が起きにく
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
い「こどもにやさしい町づくり」を目指すことを目的に諮問事項に設定した。	
6 協議	
委員	・ 新城市は子供が少なくなっているが、子供は地域の宝であるので大人が守ってあげなければいけないと思う。
委員	・ 地元で健康促進を兼ねて火曜日と金曜日に午後6時から青色防犯パトカー隊による見守り活動を行っている。小学生の下校時間に合わせればよいと思うが仕事の関係で難しい。
委員	・ 防犯ボランティアの活動には限界があるので防犯カメラの設置を促進してはどうか。学校や通学路で防犯カメラが設置されているところと、されていないところがある。必要なところを選別して防犯カメラを設置するための予算付けが必要だと考える。まずはどこに設置されているかを把握する必要がある。
委員	・ 子供の人数が少なく、見守る大人も少ないとなれば防犯カメラ等の道具を有効活用するしかない。
委員	・ 防犯カメラ以外にA I機能のある機器やランドセルにGPSの取付けも考えられる。他に雑草が成長して交通上、防犯上の危険を感じる。草を刈ることも子供を守る活動になる。
委員	・ 外国籍で子供も親も日本語が話せない人がいる。親が仕事中は子供だけにいる家庭があり安全面で心配している。ちなみに新城で一番外国籍の多い地区の半数の親子が日本語を話せない。これからはもっと増えていくと思う。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ 豊川市以外の東三河の市町村は日本人が減って外国籍の方が増加していると聞いた。外国籍の子供の見守りについても考えるべきだ。
委員	・ 私の地区は帰宅時は年寄りが見守りをしているが、帰宅後に塾に行ったり遊びに行ったりするときに心配である。防犯カメラは有効だと考える。防犯ブザーは周りに人がいないと役に立たない。
委員	・ 市役所、防犯協会、警察で連携して防犯カメラの設置を促す。警察署協議会からも申請できないか。
委員	・ 防犯カメラについては設置場所とコストを考えて設置すべきだ。設置すると当然維持費もかかる。民間や防犯協会を巻き込んで設置を考える。
委員	・ 見守りの目を増やすために「ながら見守り」を増やす。例えば通勤する人を活用したり、散歩している人を活用する。また、市民が気軽に連絡できる場所を増やす。
委員	・ こども110番の家の札が小さいので、もっとわかりやすく大きくしてほしい。また、外国語の記載も必要だと考える。こども110番の家で子供がトイレを借りたり休憩していると聞く。私はよいことだと思う。ふだんから、立ち寄りやすい環境をつくることが大切だと考える。こども110番の家を増やして、子供がすぐに立ち寄れるように場所を教示してほしい。
委員	・ 交通や防犯のボランティアを評価してあげてほしい。警察から感謝状を贈呈してもらっているが、地域の小学校で感謝する会を
	記録者 警務係長

